

2017年3月2日

「ベントイル」が2016年度織研天然繊維特別賞を受賞しました

ダイワボウ

広報 06-6281-2420

この度、ダイワボウノイ株式会社(大阪市中央区、取締役社長 齊藤清一)が商品展開している綿高密度織物「ベントイル」が、織研新聞社主催の「2016年度織研合織賞・織研天然繊維特別賞」において、織研天然繊維特別賞を受賞しました。

同賞は、メーカーや産地企業からの自薦や、織研新聞社記者の推薦により、素材・技術・企画・取組を対象に、合織賞10部門・天然繊維特別賞1部門に授与されるものです。

「ベントイル」は、1960年代に開発され、透湿・通気性を保持しながら冷たい海の中では防水性を有することが特徴で、自衛隊の海難救助服として採用されましたが、高密度織物ゆえに堅固な織機の部品でも破損してしまうこともあり、また耐水性を高めたために染料を内部まで浸透させることが難しく、染色技術の開発にも努力を要しました。

その後、それらの特徴を生かし、コットン素材でありながら、超高密度に織り上げたことから得られる優れた透湿防水機能を持ち、しっかりしたハリ感・通気性などのコットン本来の特性も備え、コート素材やカジュアル用途での採用が決まっていきました。

あるアパレル担当者は、自らバイクウエアとし実走行した結果、この素材の採用を決めたという逸話も残っています。

以降、時代の要望も相まって軽量化・ソフト化を進め、単糸使いの「ベントイルギア」、合織フィラメント系の「ベントーネ」、細番手双糸「ベントイルピュア」、太番手双糸「ベントイルゼロ」、綿先染双糸「ベントイルエクストラ」などにより、現在のラインナップを構成しております。

今後も「ベントイル」は、基本性能に磨きをかけ、その時代にあった進化を続けてまいります。

なお、同賞の贈呈式は3月15日(水)にロイヤルパークホテル(東京都中央区)にて行われます。

以上



【お問い合わせ先】

ダイワボウノイ(株) 国際開発部 担当:小泉 TEL:06-6281-2406